



あなたの生活と行政をつなぐ

Saku

LI
FE
ライフ

広報佐久

今月のトピックス

平成29年1月



平成29年1月の出来事



佐久市消防出初式を行いました

1月7日(土)、佐久市消防出初式が佐久平駅前市民交流ひろば・佐久平交流センターにて挙行されました。佐久市消防団員約1,100名が一堂に会し、消防団第五方面隊による望月地区伝統の獅子舞や消防ポンプによる初放水、整然とした分列行進、幼年消防の演技披露などが行われ、沿道を囲む観客を大いに盛り上げました。

式典は佐久平交流センター内で行われ、来賓の方々による新年の祝辞や、功績のあった消防団員に長野県消防協会などから表彰が執り行われました。



佐久市中佐都児童館 館庭及び駐車場整備 竣工式

1月6日(金)、中佐都児童館庭及び駐車場の竣工式を行いました。

中佐都児童館は、歩道整備に伴う県道への用地提供により、館庭が狭くなり、子供達は狭いスペースでの遊びしかできない状況となっていました。

地権者の皆様のご協力や中佐都育英会の皆様からの寄付金により、以前にもまして伸び伸び遊べる館庭と送迎時用の駐車場が整備されました。



証明書コンビニ交付サービスが始まりました

佐久地域定住自立圏における取組みの1つとして、導入に向けて調査・研究を進めてまいりました「証明書のコンビニ交付サービス」が1月10日(火)から始まりました。

コンビニ交付サービスは、全国のコンビニエンスストアなどに設置されているマルチコピー機で住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄本などの証明書が取得でき、市役所の窓口が閉まっている早朝・夜間・土日祝日でも利用することができます。

サービスを利用するにあたっては「マイナンバーカード」が必要となりますので、大勢の皆様がカードを取得していただき、この便利なサービスをどうぞご利用ください。



平成28年度佐久市スポーツ指導者講習会

丸金パイプ(株)様を佐久市へ企業誘致したご縁で、新日鐵住金株式会社様のご理解ご協力により元バレーボール全日本男子代表監督である植田 辰哉 氏を講師としてお招きし、スポーツ指導者講習会を市内外から多くの方にご参加いただき開催しました。

午前の部では、植田氏の全日本監督時代の話を変えながら指導に関するご講演をいただき、午後の部では、寒さの厳しい日でしたが、バレーボール指導者を対象に選手を育成するためのポイントについて、熱い実技講習会を行っていただきました。



油井亀美也宇宙飛行士 佐久市子ども未来館名誉館長就任記念講演会

朝の降雪にもかかわらず約700の方が来場されました。

オープニングイベントでは漫画家の松本零士先生がデザインした名誉館長の制服披露や先生からのビデオメッセージ、油井亀美也宇宙飛行士が宇宙へ持って行った佐久市の旗の返還などが行われました。

講演会では、国際宇宙ステーションにおける実験や生活などの体験談のほか夢に向かって努力する大切さなど貴重なお話を聴くことが出来ました。

講演会の最後には会場の子どもたちから質問を受け、油井亀美也宇宙飛行士が感心する質問が出るなど子ども達の宇宙への夢が膨らむイベントとなりました。



「全国高等学校文化連盟将棋新人大会」出場報告

1月17日、「第25回全国高等学校文化連盟将棋新人大会」に長野県代表として出場する、佐久長聖高等学校 高見澤 由実さん・野沢北高等学校 畠山 理香子さんが佐久市役所を訪れました。

高見澤さんから「常に頂点を目標しているので、全国大会でも1位を目指したい。」

また、畠山さんから「1度限りの全国大会出場とならないような実力を身に付け、上位をねらいたい。」とそれぞれ意気込みを語っていただきました。

佐久市長からは、「母校の歴史にページを刻む出場となりました。健闘をお祈りします。」と言葉をそえて、佐久市芸術文化振興激励金を交付しました。



全国中学校スケート大会 出場者激励会

1月25日、2月4日から長野市のエムウェーブで開催される「第37回全国中学校スケート大会」に出場する選手たちが市役所を訪れ、柳田市長が激励しました。

出場者は、浅間中3年の村上聖真さん、中込中2年の高橋侑花さん、臼田中2年の佐々木蒼太さん、同じく1年の朝田錬成さんです。各校のスケート部を指導している臼田中の平澤先生とともに、日々の練習のことや大会に向けての抱負をお話いただきました。



望月中学校竣工式

1月27日(金)、平成23年度から進めてきました望月中学校の全面改築事業が、当初の予定どおりこの1月に竣工し、市議会議員をはじめ、地元の皆様、工事関係者をお招きし、生徒や学校関係者とともに完成を祝いました。

旧望月中学校は、昭和40年に建設されましたが、経年とともに建物の老朽化が進んだことから、全面改築を進めてきました。

生まれかわった校舎は、内装に県内産のカラマツ材をふんだんに用いており、温かみと潤いのある学習環境を生み出しています。

生徒会長からは、「今日から60周年、70周年と、この新校舎とともに良き伝統が受け継がれるように精いっぱい努力したい。」とあいさつがありました。

新しい校舎でおおいに学び、おおいに成長していただきたいと思います。